

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ書

2021年8月10日

庄原市長 木山耕三 様

日本共産党庄原市委員会

委員長 深屋 進

日本共産党庄原市議員団

谷 口 隆 明

藤 木 百合子

平素より市民の生活と健康を守るために尽力されていることに対し、敬意を表します。

さて、一昨年12月以来、新型コロナウイルス感染症が収束せず、世界では感染者が2億人を突破しました。一方、国内ではデルタ株による爆発的な感染が首都圏を中心に全国に広がりつつあり、新規感染者数が1万人を超える日が続いています。庄原市においても95名の感染が確認され、市民生活に重大な影響を与えています。

庄原市においては高齢者や医療従事者などへのワクチン接種が順調に進み、65歳未満の接種も対象者の約半数が一回目の接種を終えたところです。医療関係者や市職員の努力に改めて感謝いたします。

ワクチン接種による重症化リスクの低減は大事なことですが、感染防止の決め手は、無症状感染者を早期に発見し、保護、隔離することです。しかし、広島県が設置した無料のPCR検査会場は三次市にあって遠く、事前の予約が必要なこともあって、受検者が増えています。かかりつけ医などの身近な場所でPCR検査を受けられるようにすることが必要です。

また、従来株では低年齢層への感染拡大は少ないとされてきましたが、感染力が増大したデルタ株においては10才代以下の層でも感染が広がっています。学校や保育所での感染拡大を防止する上でも三密を避けるための条件整備が必要です。夏休みに入ったこともあり、放課後児童クラブ等を利用する児童も増えています。ところが、永末小学校や山内小学校などでは狭い部屋に30人を超える児童が入らざるを得ない状態です。放課後児童クラブ等の密状態を解消することが早急に求められます。

以上のことから、日本共産党庄原市委員会は次の事項を要望します。

要 望 事 項

1. 医師会の協力の下に、市内の医院で市民が誰でも何回でも無料でPCR検査が受けられるよう、体制を整備し、無症状感染者の早期発見、保護に努めること。
2. 児童、幼児への感染拡大を防止する観点から、担当課の枠を超え、放課後児童クラブ、放課後子ども教室等の教室における「密」状態の解消を図るため、小学校開放などの対策をとること。
3. 市の保育所、認定こども園、地域型保育事業所や教育現場の職員の定期的なPCR検査を実施すること。